

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
伊賀地域	伊賀市、名張市及び伊賀南部環境衛生組合	平成27～令和元年度	平成27～令和元年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理) (伊賀市)

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	3,846t	3,527t (-8.3%)	5,421t (41.0%)	-493.7%
	1 事業所当たりの排出量	0.3t	0.3t (0.0%)	0.46t (53.7%)	—
	生活系 総排出量	23,299t	21,015t (-9.8%)	19,310t (-17.1%)	174.6%
	1 人当たりの排出量	104kg/人	103kg/人 (-1.0%)	216kg/人 (108.0%)	-11229.2%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	27,145t	24,542t (-9.6%)	24,731t (-8.9%)	92.7%
再生利用量	直接資源化量	1,474t (5.4%)	1,630t (6.6%)	1,611t (6.5%)	-89.5%
	総資源化量	15,506t (57.1%)	13,863t (56.5%)	2,811t (11.4%)	-7194.2%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量)	— MWh	— MWh	— MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	9,999t (36.8%)	9,331t (38.0%)	20,599t (83.3%)	3920.3%
最終処分量	埋立最終処分量	1,640t (6.0%)	1,348t (5.5%)	1,321t (5.3%)	127.5%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(ごみ処理) (名張市)

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	7,219 t	6,982 t (-3.3%)	6,039 t (-16.3%)	497.9%
	1 事業所当たりの排出量	2.0 t	1.9 t (-5.0%)	2.1 t (5.0%)	-100%
	家庭系 総排出量	14,528 t	13,649 t (-6.1%)	14,941 t (2.8%)	-47.0%
	1 人当たりの排出量	158kg/人	157kg/人 (-0.6%)	181kg/人 (14.6%)	-2300%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	21,747 t	20,631 t (-5.1%)	20,980 t (-3.5%)	68.7%
再生利用量	直接資源化量	714 t (3.3%)	794 t (3.8%)	491 t (2.3%)	-166.8%
	総資源化量	2,502 t (11.5%)	2,624 t (12.7%)	1,181 t (5.6%)	-484.1%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	— MWh	

減量化量	中間処理による減量化量	18,121t (83.3%)	17,063t (82.7%)	18,221t (86.8%)	-567.5%
最終処分量	埋立最終処分量	1,124 t (5.2%)	944 t (4.6%)	860 t (4.1%)	180.4%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(ごみ処理) (伊賀地域)

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	11,065t	10,509t (-5.0%)	11,460t (3.6%)	-71.0%
	1 事業所当たりの排出量	1.0t	0.9t (-10.0%)	1.0t (0.0%)	18.5%
	生活系 総排出量	37,827t	34,665t (-8.4%)	34,251t (-9.5%)	113.1%
	1 人当たりの排出量	129kg/人	128kg/人 (-0.8%)	205kg/人 (59.0%)	-7584.5%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	48,892t	45,174t (-7.6%)	45,711t (-6.5%)	85.5%
再生利用量	直接資源化量	2,188t (4.5%)	2,424t (5.4%)	2,102t (4.6%)	13.8%
	総資源化量	18,008t (36.8%)	16,487t (36.5%)	3,992t (8.7%)	8394.4%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量)	- MWh	- MWh	- MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	28,120t (57.5%)	26,394t (58.4%)	38,820t (84.9%)	2998.3%
最終処分量	埋立最終処分量	2,764t (5.7%)	2,293t (5.1%)	2,181t (4.8%)	152.2%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理) 伊賀市

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目 標※3	
総人口	96,187人	89,000人	89,262人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	14,773人	14,017人	14,483人	103.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	15.4%	15.7%	16.2%	266.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	12,622人	11,946人	14,063人	117.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	13.1%	13.4%	15.8%	900.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	36,613人	35,304人	40,282人	114.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	38.1%	39.7%	45.1%	437.5%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	32,179人	27,733人	20,434人	73.7%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

(生活排水処理) 名張市

指 標		現 状 (平成25年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目 標※3
総人口		81,172人	75,968人	77,250人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	20,273人	45,632人	44,900人	98.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	25.0%	60.1%	58.1%	94.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	7,543人	8,319人	9,559人	114.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	9.3%	11.0%	12.4%	182.4%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	48,530人	19,128人	22,178人	115.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	59.8%	25.2%	28.7%	89.9%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	4,826人	2,889人	613人	21.2%

※3 (実績の割合－現状の割合) / (目標の割合－現状の割合) を記載

(生活排水処理) 伊賀地域

指 標		現 状 (平成25年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目 標※3
総人口		177,359人	164,968人	166,512人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	35,046人	59,649人	59,383人	99.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.8%	36.2%	35.7%	97.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	20,165人	20,265人	23,622人	116.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	11.4%	12.3%	14.2%	311.1%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	85,143人	54,432人	62,460人	114.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	48.0%	33.0%	37.5%	70.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	37,005人	30,622人	21,047人	68.7%

※3 (実績の割合－現状の割合) / (目標の割合－現状の割合) を記載

## 2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	伊賀市	減量化が図られない場合は、ごみ袋(家庭系)又は手数料(事業系)の値上げを検討	H27～R1	可燃ごみ・資源ごみの搬入量は減少傾向にあり、減量化が図られた。
	12	環境セミナー、出前トーク等の開催	伊賀市	市民に対し、ごみの分別・再利用の重要性を普及啓発	H27～R1	環境セミナーの開催 H27：1回(獣害対策) H28：1回(循環型社会形成) H29：1回(食品ロス) H30：2回(太陽光、海岸ごみ) R1：1回(風呂敷活用)
	12	環境セミナー、出前トーク等の開催	名張市	市民に対し、ごみの分別・再利用の重要性を普及啓発	H27～R1	出前トーク等実施件数 H27：19件、H28：10件 H29：10件、H30：19件 R1：17件
	13	生ごみ処理容器等の普及	伊賀市	コンポストや生ごみ処理容器等の購入補助金を継続・普及促進	H27～R1	購入補助金を継続している。広報誌やホームページで補助金制度について周知を行った。
	13	生ごみ処理容器等の普及	名張市	コンポストや生ごみ処理容器等の購入補助金を継続・普及促進	H27～R1	段ボールコンポストを広報紙やホームページ、ラジオなどの媒体で周知啓発を実施
	14	マイバッグ運動とレジ袋削減の実施	伊賀市	事業者等と協力し、マイバッグ運動を普及啓発するとともに、レジ袋の削減を推進	H27～R1	協力店舗にマイバック持参率の報告をいただき、更なる推進について依頼した。また、関連ポスターを庁舎に掲示し、市民への周知を行った。
	14	マイバッグ運動とレジ袋削減の実施	名張市	事業者等と協力し、マイバッグ運動を普及啓発するとともに、レジ袋の削減を推進	H27～R1	協力店へのポスター掲示などの啓発を実施
	15	生活排水対策	伊賀市	市民に対し、水質保全の重要性	H27～R1	生活排水対策セミナー開催(年1

				を普及啓発		回) クリーンウォーキング開催(年1回) 河川美化啓発物品(ポケットティッシュ)配布 ちらし配布(H28)
処理体制の構築、変更に関するもの	21	効率的な収集・運搬体制の整備	伊賀市	民間委託により、経済的かつ効率的な収集・運搬体制の構築	H27～R1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき市が処理すべき一般廃棄物を「資源・ごみ収集カレンダー」により委託業者が収集運搬業務を実施した。
	22	し尿・浄化槽汚泥処理体制の構築	伊賀市	青山地区のし尿・浄化槽汚泥についても効率的に処理する体制の構築	H29～R1	青山地区を含む伊賀市全域のし尿・浄化槽汚泥を処理できる処理施設を新設した
処理施設の整備に関するもの	1	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備	伊賀市	(仮称)伊賀市汚泥再生処理センターの整備	H29～R1	処理能力 170 kℓ/日 処理方式 膜分離高負荷脱窒素処理方式 資源化方式 リン回収
	2	浄化槽設置整備事業	名張市	生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上を目的とし、国庫補助指針に適合した小型浄化槽200基を整備する。	H27～R1	事業実施 5人槽：51基 7人槽：22基 10人槽：3基 計76基
	3	浄化槽市町村整備推進事業	名張市	生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上を目的とし、国庫補助指針に適合した小型浄化槽57基を整備する。	H27	事業実施 5人槽：2基 7人槽：9基 10人槽：2基 計13基
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備(事業番号1)に係る計画支援	伊賀市	(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター整備に係る測量・地質調査事業	H27	(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター測量業務委託 (仮称)伊賀市汚泥再生処理センター地質調査業務委託

				(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター整備に係る生活環境影響調査事業	H27	(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター生活環境影響調査業務委託
				(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター整備に係る基本設計等調査事業	H27	(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター基本設計業務委託
				(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター整備に係る発注仕様書等作成事業	H28～H29	(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター整備工事発注支援業務委託
	41	溶融スラグの有効利用の促進	伊賀南部環境衛生組合	生成される溶融スラグを資源としての有効活用促進	H27～R1 (継続実施)	令和2年度：137t (平成25年度 587t)
その他	42	小型家電等リサイクルに関する普及啓発	伊賀市	各種リサイクル法に基づく処理の普及啓発	H27～R1	地区市民センターで拠点回収及び啓発を行った。
	42	小型家電等リサイクルに関する普及啓発	名張市	各種リサイクル法に基づく処理の普及啓発	H27～R1	小型家電の拠点収集及び分別収集(資源)の実施
	43	粗大ごみの戸別収集	伊賀市	粗大ごみを戸別収集し、再生利用を推進	H27～R1	粗大ごみの戸別収集事業を広報誌等で啓発し、収集事業を行った。
	45	不法投棄対策	監視パトロールの強化	伊賀市	H27～R1	市内全域を対象とした環境パトロールを、区域を定めて業務委託1班、直営1班の2班体制で実施しており、かつ各支所や地区市民センターと連携し監視による不法投棄の未然防止に努めた。
	46	災害廃棄物処理体制の整備	伊賀市	災害廃棄物処理計画の策定	H27～H28	平成28年度に伊賀市災害廃棄物処理計画を策定した。
	46	災害廃棄物処理体制の整備	名張市	災害廃棄物処理計画の策定	H27～H28	災害廃棄物処理基本計画の全面改訂(H29.12)

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### 【ごみ処理】

##### 伊賀市

家庭系のごみの総排出量について、目標を大きく達成したものの、事業系ごみの総排出量について、目標値を大きく下回る事となった。これについては、経済活動が活発になった企業と反面コロナ禍によりこれまで暇が無く貯めこまれていたゴミを排出する事業者が増加したことが要因となっていると分析を行っています。

再生利用量の総資源化量については目標値に対し大幅に減少し、減量化量については目標値に対し大幅に増加しているが、これは令和元年8月にRDF製造を終了したためです。

##### 名張市

事業系のごみの総排出量について、目標を大きく達成したものの、家庭系ごみの総排出量について、目標値を下回っている。これについては、コロナ禍により家庭で過ごす市民が増えたことや容器包装リサイクルを燃やすごみへと変更したことが要因となっていると分析を行っています。

#### 【生活排水処理】

##### 伊賀市

処理施設整備については、計画支援に関するものも含めて計画通りに実施できた。新施設は、騒音・悪臭などの公害防止に万全を期し、地域の生活環境の向上が期待できるようになった。公共下水道、集落排水施設等については、目標を達成しており、集落排水施設等については、令和元年7月より山田南地区の農業集落排水が供用開始となったことから接続人口が増加しています。合併処理浄化槽等については、個人設置型の普及促進もあり目標を達成しました。

##### 名張市

公共下水道について、目標としていました中央処理区内の整備が遅れたものの、計画策定時に目標として位置付けていなかった南部処理区内の住宅団地において、大型合併処理浄化槽の公共下水道化が進んだ結果、公共下水道全体としては、僅かに目標未達成となり、合併処理浄化槽等では個人設置型の普及促進もあって、目標を達成しました。集落排水施設等については、平成30年10月より比奈知地区の農業集落排水が供用開始となり、目標を達成しました。未処理人口については、令和2年度目標の2,889人に対し、実績は613人であり、目標を達成しています。

##### 伊賀地域

公共下水道については、わずかに目標達成できなかったものの、集落排水施設等では、比奈知地区農業集落排水および山田南地区農業集落排水が供用開始となり、目標を達成しています。合併処理浄化槽等は、個人型の普及促進もあり、目標を達成しました。また、未処理人口については、目標の30,622人に対し、実績は21,047人であり、目標を大きく達成しています。

(都道府県知事の所見)

**【ごみ処理】**

伊賀市では、市民に対するごみ分別等の普及啓発施策が着実に実行され、生活系ごみの排出量の減少目標が達成されている一方で、事業系ごみの排出量が増加しているため、事業者に対してごみの発生抑制の啓発などの対策が望まれます。

名張市では、事業系ごみの排出量の減少目標が達成されている一方で、生活系ごみの排出量が増加しています。引き続き、市民に対してごみの分別、排出抑制の啓発等の施策を実行することが望まれます。

**【生活排水処理】**

未処理人口の目標達成を評価します。今後も未処理人口の更なる減少に取り組まれることを期待します。